

序

学 校 長 仲 新

ここに本校の昭和32年度紀要を世に送ることとなった。本校の紀要は既に第1集および第2集を刊行しているので、この紀要は第3集にあたるわけである。しかし本校では昭和31年度から教育学部との共同研究の体制を整え、本年度より実質的に新しい研究組織のもとに中等教育の研究を進めて来た。そしてこの紀要は新しい研究体制による研究成果を中心として編集した最初のものであり、今後本校の紀要が、共同研究の成果を中心として毎年度編集されて行く意味において、本校紀要の第1集であるといつてよいであろう。

本校の共同研究は、先ず中等学校における“基礎教育”を研究テーマとしてとりあげ研究を進めて来た。その研究成果の第1回の発表を中心として去る11月下旬2日間にわたって“中等教育研究協議会”を開催した。この紀要では、その際発表した内容と、さらにその時には十分発表し尽せなかった内容をあわせて収録することとした。共同研究は総合部門と教科部門とから構成せられ、総合部門では先ず“読書指導”の問題をとりあげているので、その調査と考察の結果を発表し、教科部門は各教科毎に基礎教育の観点からそれぞれ独自の問題を取りあげているので、各教科部門毎にその研究の成果を収録した。本校では共同研究に重点をおいているが、個人研究もそれ自身重要な意味をもち、また共同研究の基礎としても重視すべきものである。従つてこの紀要においても各個研究の欄を設け、今回3編を収録している。このほか本年度の研究題目、研究組織、研究経過の概要、中等教育研究協議会の概要等を収録することとした。

本年度の紀要を刊行するにあたり、その経過と内容のあらましを述べ、本校の未熟未完成の研究に対し御批判と御指導を期待する次第である。